

なかとんべつ 町議会だより

Volume

229

令和6年10月25日発行



敬老会（令和6年9月18日）

第3回定例会議決された議案等	3
第2回臨時会	4
議会改革特別委員会行政視察・全員協議会	5
私たちの一般質問	6
行政視察の受け入れ（様似町議会・仁木町議会） ..	9
令和5年度決算審査特別委員会	10
議会だより	13
議会の動き・あとかき	14



令和6年第3回定例会が、9月9日から11日まで3日間の日程で開催され、初日の行政報告で小林町長は、次の1点について報告をしました。

1. 中頓別町と学校法人北工学園による人材育成に向けた協定の締結について、今後も人口減少や少子高齢化の急速な進展により人材育成が進む「保育士」や「介護福祉士」などの育成に向けて、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けた協定を8月6日に締結しました。



大島教育長の教育行政報告でも1点の報告がありました。

1. 未来への挑戦「ハワイ英語研修」事業について、この事業の目的は、第1に、英語力の向上によるコミュニケーション力の向上を図ることであり、第2に、異文化に触れ国際的な視点を身に着けるとともに、短期間であれ外国で過ごし、わが国の文化を見直す機会の提供を行うことです。



実際にハワイへ行き、異国の文化、自然、歴史、食生活を五感で体験し、どうしたら自分の英語が伝わるかを考えながら、間違いを恐れず英語に挑戦する姿勢は、今後の英語でのコミュニケーション能力を高めるとともに、自国の文化を見つめ直すきっかけとなる等、当初の目的を達成することができたと考えています。

初日の報告で「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）に基づく健全化判断比率では、本町は令和5年度決算で実質公債費率が▲0.3%（健全化判断基準25.0%）となりました。

また、資金不足比率等の報告では、いずれの会計も資金不足が生じておらず、資金不足比率は算定されないと報告がありました。

一般質問では、通告順に3議員が、本町の抱える諸問題について、町長に所見を質しました。

令和5年度一般会計ほか7会計の決算は、全議員で構成する「決算審査特別委員会」（西浦委員長）に付託され、会期中に審査を行いすべて認定されました。

第3回定例会で 決まりました



議決された議案等

○**同意第2号 教育委員会委員の任命同意**
新たな委員に任命することに全会一致で同意。

字中頼別 長尾 祐一さん
任期 令和6年10月1日

令和10年9月30日

○**議案第52号 税条例（一部改正）**
地方税法等の法律改正に伴い改正するもの。

○**議案第53号 コミュニティ施設の設置及び管理等に関する条例（新規条例）**
町内の市街中心部に位置する立地条件を有効活用した町民活動の拠点づくりとしてコミュニティ施設の設置及び管理に関する条例を制定するもの。

○**議案第54号 新型コロナウイルス予防接種費用助成に関する条例（新規条例）**
令和5年度で新型コロナウイルスの特例臨時接種が終了し、町民の費用負担が生じることとなったため、新型コロナウイルス感染症の罹患予防を図り、町民の健康を守るため条例を制定するもの。

○**議案第55号 重要な公の施設並びに議会の議決に付すべき重要な公の施設の利用又は廃止に関する条例（一部改正）**
コミュニティ施設を設置することから、

当該施設を重要な公の施設として位置付けるため改正を行うもの。

○**議案第56号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例（一部改正）**
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例を改正するもの。

○**議案第57号 町営住宅の設置及び管理に関する条例（一部改正）**
入居手続における保証人の連署する請書提出の義務付けを削除するなど現状に合わせ条例を改正するもの。

○**議案第58号 国民健康保険条例（一部改正）**
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の改正に伴い条例を改正するもの。

○**議案第59号 工事請負契約の締結**
中学校改修工事にかかる契約の締結

○**議案第60号 一般会計補正予算**
既定の歳入歳出予算額にそれぞれ3,901万6千円を追加し、歳入歳出の総額は

47億2,506万5千円に。

歳出の主なものは、新型コロナウイルスワクチン予防接種委託料774万円水道事業運営補助事業1,067万円、商工業振興対策推進事業1,712万円、ピンネシリ温泉浴室改修工事実施設計委託料510万円などを追加するもの。

○**議案第61号 国民健康保険事業特別会計補正予算**
既定の歳入歳出予算額にそれぞれ19万8千円を追加し、歳入歳出の総額は2億8,962万7千円に。

歳出の主なものは、月報クラウド運用負担金を追加するもの。

○**議案第62号 国民健康保険病院事業会計補正予算**
収益的収支の収入支出既決予定額にそれぞれ889万8千円を追加し、総額は5億8,938万円に。

歳出は、主に薬品費及び診療材料費を追加するもの。

○**議案第63号 水道事業会計補正予算**
収益的収支の収入支出既決予定額にそれぞれ1,235万3千円を追加し、総額は1億7,028万1千円に。

歳出は、主に水道施設更新計画改定業務委託838万円などを追加するもの。

○議案第64号 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ317万円を追加し、歳入歳出の総額は2億6,313万9千円に。
歳出は、主に国及び道に対する返還金に346万円を追加するもの。

○議案第65号 介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ16万1千円を追加し、歳入歳出の総額は5,992万7千円に。
歳出は、備品購入費（全自動洗濯機1台、衣類乾燥機1台）を追加するもの。

○議案第66号 介護保険事業特別会計（施設介護サービス事業勘定）補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ169万4千円を追加し、歳入歳出の総額は2億1,867万8千円に。
歳出は、主に委託料（セミナー開催業務委託料30万円、送迎バス業務委託料35万円）を追加するもの。

○議案第67号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

法律の規定に基づき、中頓別辺地に係る公共的施設の総合整備計画を変更する。

○議案第68号 下水道事業会計補正予算

収益的収支の収入支出既決予定額にそれぞれ31万1千円を追加し、総額は1億2,786万4千円に。

以下は報告案件

歳出は、未払金（消費税確定申告による額の確定）を追加するもの。

○報告第4号 令和5年度健全化判断比率の報告

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）の規定により、監査委員の意見を付して議会に報告するとともに住民に公表されるものです。

①実質赤字比率 算定なし（基準15%）

②連結実質赤字比率 算定なし（基準20%）

③実質公債費比率 ▲0・3%（基準25%）

④将来負担比率 算定なし（基準350%）

【監査委員の審査意見】

実質公債費比率は平成22年度から早期健全化基準を下回っているが、今後とも公債費比率の通減に努め、財政の健全化を図りたい。

○報告第5号 令和5年度資金不足比率の報告

審査の対象となった病院、水道、下水道会計の資金不足比率（基準20%）は、いずれも算定されない。

第2回臨時会結果

令和6年第2回臨時会が8月6日招集され、議案1件を原案どおり可決しました。

また、議員派遣の件を決定しました。

○議案第51号 一般会計補正予算

【議員派遣】

・宗谷管内議員研修会

派遣場所 稚内市

派遣期間 8月24日

派遣議員 星川議長

・議会改革特別委員会行政視察

派遣場所 猿払村

派遣期間 8月28日

派遣議員 星川議長、西浦副議長、宮崎議員、長谷川議員、高橋議員、吉田議員、蓮尾議員





「議会改革特別委員会行政視察」

(8月28日 猿払村へ)

議会中継にかかるインターネット配信及びペーパーレス化について、先進地である猿払村へ視察を行いました。

ペーパーレス化の取り組み状況や議場からの議会中継を実際に確認することで、ペーパーレスによる業務効率化の必要性を実感することができた。

(参加議員 計7名 星川議長、西浦副議長、宮崎議員、長谷川議員、高橋議員、吉田議員、蓮尾議員)

猿払村議会ぶどう栽培事業視察

9月26日に、猿払村議会 鈴木議員、高橋議員、小泉事務局長、成澤係長による本町のぶどう栽培圃場の視察を行いました。



議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、12月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申し上げております。

全員協議会 8月28日

(協議事項)

ピンネシリ温泉運営事業における浴場改修工事について



今後の運営が検討されているピンネシリ温泉

ここが聞きたい、知りたい

私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

行政側の「検討します」等の経過報告書について

議員の一般質問に対して行政側から「検討していききたいというふうに思っています。」などの形で答弁が保留されることが幾度もあったが、令和4年9月・12月の2回の定例会で「一般質問による課題提起及び経過報告書」が行政側から、議員に提出がありました。

しかし、この2回だけで、その後の定例会に置いても行政側からの「検討させていたいただきたい。」・「検討を進めていききたい。」等の保留答弁がなされているものの経過報告書が一切提出されていないのは何事か、その場しのぎの答弁は議員に対する議会軽視ではないか町長に伺います。

答弁 ○小林町長

議会答弁を通じた様々な質疑や指摘をふまえ、「検討する」という趣旨で回答した案件につきましては、各所管で検討、町長協議、確認し対応することを原則としています。検討する案件については、議会の場で判断できないもの、関係者との協議や意見聴取の必要なもの、法令の確認や規定の整備、予算措置を要するもの、実現性について精査や調整の必要なもの、検討や対応に時間を要しているものなど、報告書としてとりまとめが進まない部分もあり、この間の提出に至っていませんでした。

今後に向けては、各所管が主体的に進捗を随時報告し、情報を共有するよう意識づけを図りながら経過報告をしていきます。

蓮尾純一 議員



質問

中頓別学園構想の詳細は

学園構想自体が存在し、実施に向かい動いていることは町民に伝わり始めています。しかし、内容がどういうものなのか把握している町民は少ない状況です。公共事業において建物ありきではなく事業の中身が重要ですが、中身が見えません。いつ頃、具体的な内容の公表となるのでしょうか。着工目前にも関わらず教育方針や一般町民への施設開放の具体的内容などが見えません。

これら内容を詰めるための人員は足りているのかも伺います。

答弁 ○大島教育長

広報への掲載やワークショップ、各団体へのヒアリングを進め構想を整理してきました。都度、進捗情報を報告しています。

11月に開催予定の保護者説明会で事業内容詳細の公表を予定しています。推進するにあたり人員は十分とは言えませんが教育委員会を中心に町長部局、各課とも連携を一層に図りながら進めていき、適宜情報を共有し、町民の皆様からの意見を受けながらより良い学園構想の実現に向け取り組みを行います。

質問

町民の生活満足度について

当町は残念ながら生活満足度が高い状況とは言えません。まず住んでいてお金が掛からないことが重要だと考えますが、公営住宅は設備の割に高額に感じます。所得の少ない方にとって民間アパートは高額に感じてしまっています。日々の消費や医療も当町では完結しないことが多く移動費が掛かります。

そのような中でも当町で仕事をしている方や、自然や風土などを好みに住んでいたという方を大切にしなければなりません。住宅補助や交通費の補助などを検討することや、全天候型の公園を設置するなど、生活満足度を上げる必要があると考えますがいかがでしょうか。

答 弁 ○小林町長

公営住宅については、耐寒使用にするなどの改修を検討します。

交通費補助については、消費流出を促進させることを助長するわけにはいかないことから、医療機関受診に限り助成を検討します。

全天候型公園の設置は新しい学校設置後に郷土資料館を活用することも検討しています。

質問

商工業者の現状把握の有無は

高齢化等の理由により商工業者において廃業が増加しています。

また、人口減少により事業を続けることが困難になっています。町としてどこまで把握しているところででしょうか。現在、事業承継や新規設備導入に関する支援メニューは条例化されていますが、高齢者が多い現状や住居一体型の事業所が多い中、支援メニューの活用は難しい状況にあります。

プレミアム商品券のように一時的ではなく持続的に下支えできる支援が必要だと考えますがいかがでしょうか。

答 弁 ○小林町長

商工業者の経営状況について把握はしていませんが、厳しい状況であると推察しています。設備投資や新規事業への補助、事業承継への補助を実施しているところで、本件は商工会と金融機関、産業課商工労働・観光まちづくりグループが連携し取り組んでいます。事業承継は商工会と連携協議して、国などが用意する制度の実施が可能かなどの観点で評価していきたいと考えます。

プレミアム商品券は継続に向け取り組みます。一方で、経営持続を下支え

する施策については、公平性や実効性を担保しなくてはならないので、実施が可能か情報収集を行います。

学園建設にあたり町内経済が上向きになる要因になるとも期待するところですので、商工会と情報共有を行います。

宮崎 泰宗 議員



質問

安心して学べる環境づくりを

中頓別学園の設立に向けては、保護者説明会や学校備品の処分なども行われ、施設整備に向けた準備が進んでいると思われるが、主な費用面では、6月定例会において約46億円の債務負担行為が設定され、8月臨時会では当初

5,000万円と予算化されていた仮校舎となる中学校の改修費用が、700万円ほどに増額された。今後まだ2年近くは中学校を学校として使用するようになると思うが、耐震等の強度については問題ないのか。その後の維持管理や利活用の選択肢にも関わることであり、改めて伺う。

また、単に老朽化した中学校生活の解消だけでなく、これだけの費用をかけた教育環境の整備であることから、子どもたちにとって今まで以上に通いたいと思える学校、居場所となつてほしいものであるが、児童生徒数は減少している中で、いわゆる不登校の状態となる子どもは増えていると聞く。生徒数が数百人規模の大きな学校でも不登校ゼロを実現している例もあるが、現在の学校の状況ということで昨年報告いただいた中では、中学校で人数的には生徒数の2割ほどが不登校という状況であり、いじめと認定される事案もあるとのことであった。その後の状況や対応については、いかがか。

答 弁 ○大島教育長

中学校は平成11年度の耐震診断で耐震性のある建物と判断されており、令和4年度の調査でも指摘なしの結果が出ている。今回の改修工事についても、安全面を最優先に必要な措置を講じていく。その後の利活用については、小

学校と町民センターにある美術品なども含め、歴史や思い出の品々を展示公開する施設にすると共に、洪水時の高台避難所として指定する計画である。

不登校の認識に関しては、フリースクールやオンライン学習も出席とみなされるようになり、本町においても、そういった環境を整えている中で、現在、個々の要因で学校に登校できていない対象生徒数の率は昨年度より減っている。いじめに関しては、より積極的な認知という観点から、道教委による調査も毎年2回実施し、子どもたちが嫌な思いをしていないか、学校と教育委員会が情報共有を図り、状況によっては町指導主事による指導助言や、学校独自の調査や面談による予防的対応や相談支援を行っている。

今後も引き続き子どもたちが心身ともに健やかに成長できる環境づくりに努めていく。

答 弁 ○小林町長

すでに中学校は、本町の避難所として指定されているが、主に体育館の活用を想定したものであり、今回、教室やトイレなどの校舎部分を改修することから、収容人数や備蓄場所として活用できる部分を増やせるものと考えている。学校整備の方向性として当初は中学校単独の建て替えだったところから現在の構想に至った経緯も踏まえ、今後の

利活用について、しっかり考えていきたい。

質 問

町民利用が落ち込んだままの温泉、改修規模の根拠を明確に

本定例会ではピンネシリ温泉の改修に係る設計費として約500万円が計上されている。これについても今年度当初の段階でボイラーの更新と浴室の改修工事合わせて3,500万円ほどと予算化されていた部分であり、これに約1億円を追加する形での改修工事を実施するための設計費とのことであるが、温泉の経営状況は前年度実績で収入約1,300万円、支出約3,300万円、10年ほど前までは1,000万円程度で賄われていた指定管理料を、2,000万円投入しても使い切るような状況となっている。

利用が伸びている宿泊者の動向も本町の観光振興計画で謳われている高級路線の中長期滞在とは異なり、今の形で温泉を維持することは、およそ1,500万円を投じて作成された観光施設再整備計画の内容とも矛盾する。この温泉宿泊施設の将来性や存在意義などの議論を置き去りにしたまま、そこまでの費用をかける必要があるのか。食事の提供が行われていないことから

らも、今の温泉は、史上もっとも多く割合を、利用しない町民によって支えられていることになると思うが、人口1,400人台に突入した中頓別町民の負担は、年間の運営費だけで一人当たり15,000円を超えている。このような状況で大きな改修に踏み切れることを、町長としては、どのように判断されたのか。

答 弁 ○小林町長

ピンネシリ温泉は入浴施設が平成元年度、宿泊施設は平成4年度に運用開始となり、これまでの間、緊急的な修繕を幾度となく繰り返し運営してきたところであるが、今年度当初に費用計上したボイラーの更新や浴室改修に向け、改めて詳細な現地調査をしたところ、建物本体に深刻な破損箇所が発見され、さらに修繕箇所の増加や配管系に新たな不具合も発生したことから、それらにも対応するための実施設計費用の計上に至ったところである。

町としては、平成29年度策定の中頓別町観光振興計画、令和2年度策定の観光施設再整備基本計画について、社会情勢を一変させた新型コロナウィルス感染症の拡大は、特に観光において対応に苦慮したことは否めないが、計画実施に向けた考え方が整理しきれていなかったところもあると考えており、計画が定める方針や施策について、そ

の一部のみの踏襲、実施に留まるなど、十分な費用対効果が見込めたかについて反省すべき点があると認識している。今後は、ピンネシリヴィレッジファーム全体のパッケージや認知度を勘案し、当面は、現在の営業形態を維持するために必要な最小限の修繕を実施したいと考えている。その先のことにしても、何らかの方向性を今年度中にもまとめていく考えである。

答 弁 ○矢部産業課商工労働観光まちづくり担当課長

浴槽の水が外壁まで漏れ、中で鉄筋が溶けている状況もあることから、追加の補強工事も必要最低限と考えている。

今後も、温泉の方向性に関わるその他の改修等の考えなど、何かあれば、その都度情報共有させていただく。

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

行政視察の 受け入れ

7月18日に日高管内様似町議会社会・文教常任委員会（橋爪伸江委員長他5名）及び8月6日に後志管内仁木町議会総務経済常任委員会（野崎明廣委員長他9名）による行政視察の受け入れをそれぞれ行いました。

様似町議会では、本町の「特別養護老人ホームの町移管について」及び「ライドシェア（地域生活サポート事業）について」の取り組みを、仁木町議会では、「ライドシェアの取り組みについて」の視察が行われました。

様似町議会社会・文教常任委員会行政視察の様子 （7月18日）



（参加議員 計7名）

星川議長、西浦副議長、宮崎議員、
長谷川議員、高橋議員、吉田議員、
蓮尾議員

仁木町議会総務経済常任委員会行政視察の様子 （8月6日）



（参加議員 計7名）

星川議長、西浦副議長、宮崎議員、
長谷川議員、高橋議員、吉田議員、
蓮尾議員

令和5年度 決算審査特別委員会



町の各会計の決算は、地方自治法の規定に基づき、監査委員の意見を付して議会に提出され、認定の可否を決めるものです。

議会は予算が適正に執行されていることを審査するとともに、住民に代わって行政効果を検証します。

第3回定例会では、全議員で構成する「決算審査特別委員会」（西浦岩雄委員長）が設置され、休会中に各会計決算を審査し、令和5年度の一般会計をはじめとする8会計すべての歳入・歳出決算が認定されました。

決算審査のあらまし

一般会計はじめ、全会計の歳出総額（表1）で61億8千266万円にのぼる令和5年度歳入・歳出決算の審査が終了しました。

一般会計の決算規模は、前年度に比べ、歳入で約2億4千500万円、歳出で約2億5千500万円増加しています。

地方交付税は、令和4年度の23億2千300万円から約2千700万円減の22億9千600万円となり、一般会計の歳入総額46億2千100万円に占める割合（依存度）は約50%に達しています。

交付税減少の主な要因は養護老人ホーム長寿園の措置者数の減、臨時経済対策費の減によるものです。

実質公債費比率は前年度▲1・0%から、▲0・3%（表3③）になっています。

比率の算定には不透明な部分が多い交付税が算入されるため、将来の不測の財政負担に備え、今後も行財政改革を進め、本町の歳入に見合った比率を維持するよう、努力を続けなければなら

実質公債費比率▲0・3%

基金残高17件、39億1千200万円（一般会計）に

全会計決算を認定

りません。

歳入では町税、使用料等の収入未済（滞納額）が、前年度に比べ61万4千円増加しており、不納欠損額（町税等が徴収不能と判断された金額）が40万円となっています。

一般会計の基金では、財政調整基金をはじめとする17基金の合計で、前年度末に比べ3億8千600万円減少し、39億1千200万円となりました。基金が減少した主な要因は、財政調整基金9千700万円、長寿園施設改修拡張事業基金2千700万円、公共施設整備等基金1億3千700万円、地域活性化基金8千600万円、地方創生基金2千800万円をそれぞれ取り崩したことによるものです。

町全体の公債費の借入（元金）残高（表2）は、認定こども園事業（認定こども園遊具整備工事）に1億1千100万円、中頓別学園整備事業2千200万円などを借り入れたことにより、令和5年度借入額が8億5千100万円となり、償還額が6億600万円、この結果、前年度末に比べ2億4千400万円

増加し、61億2千100万円になり、町民一人当たり約410万円の借金額は前年度と比較し約32万円増加しています。

特別会計への繰出金は、前年度に比べ1億1千900万円増加し、7億4千700万円になりました。水道事業特別会計の過疎債など7千600万円、介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）の新設により3千400万円増加となったことが主な要因です。

特別会計の運営は、それぞれの収入によって支出を賄う独立採算が基本ですが、実態は一般会計からの繰入金によって収支のバランスを保っている大変厳しい状況であり、このことは今後続くことが予想されます。

決算審査特別委員会では、9月10日から11日にかけて全議員による審査を行い、認定第1号一般会計から、認定第9号後期高齢者医療事業特別会計までの8会計の令和5年度歳入歳出決算について、全会一致で認定すべきものと決しました。

歳出総額 61億8千266万円

(表-1) 令和5年度 一般会計及び特別会計の決算状況

(単位:円)

会 計 区 分	予 算 額	決 算 額			翌年度へ繰越すべき財源
		歳 入 額	歳 出 額	差 引 額	
一 般 会 計	5,020,786,000	4,621,238,851	4,479,047,491	142,191,360	119,000
特 別 会 計 ・ 公 営 企 業 会 計	自動車学校事業特会	69,572,000	68,709,553	68,539,500	170,053
	国民健康保険事業特会	292,888,000	247,585,929	227,766,151	19,819,778
	水道事業特会	547,437,000	443,156,236	409,748,909	33,407,327
	下水道事業特会	145,252,000	141,861,430	91,995,582	49,865,848
	介護保険事業特会 (保険事業勘定)	246,692,000	235,465,964	232,295,156	3,170,808
	介護保険事業特会 (介護サービス事業勘定)	58,757,000	56,613,472	56,500,683	112,789
	後期高齢者事業特会	34,516,000	33,288,067	33,177,875	110,192
	国保病院事業 (収益的収支)	596,969,000	577,485,367	572,435,923	5,049,444
	(資本的収支)	11,156,000	6,746,000	11,154,067	▲ 4,408,067
合 計	7,024,025,000	6,432,150,869	6,182,661,337	249,489,532	209,000

(表-2) 公債(町債元金)借入残高の状況

(単位:千円)

区 分	令和4年度末	借入(発行)額	償還額	令和5年度末
一 般 会 計	5,108,202	716,381	514,172	5,310,411
水 道 事 業 特 別 会 計	325,045	128,300	36,793	416,552
下 水 道 事 業 特 別 会 計	338,310	5,300	48,250	295,360
国民健康保険病院事業会計	104,812	1,200	7,259	98,753
合 計	5,876,369	851,181	606,474	6,121,076

(表-3) 財務指標(普通会計)

(単位:①～③%,⑤～⑦千円)

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
①経常収支比率	62.6	58.6	61.9	64.1	毎年経常的に収入される財源のうち、経常的に支出される経費の割合
②実質公債費比率 (単年度)	△ 1.8	△ 0.7	△ 1.0	0.4	
③実質公債費比率 (3ヵ年平均)	△ 1.5	△ 1.2	△ 1.0	△ 0.3	
④財政力指数	0.109	0.107	0.106	0.105	財政力の強弱を表す指標で、1以上は普通交付税の不交付団体
⑤標準財政規模	2,162,294	2,371,875	2,355,858	2,331,504	ある程度均衡の取れた行政サービスを行うために必要な一般財源の規模
⑥基準財政収入額	229,770	228,698	243,653	244,166	収入が見込まれる税金など
⑦基準財政需要額	2,067,355	2,250,924	2,292,038	2,280,423	一定の行政サービスを提供するために必要な財源

決算審査特別委員会

主な質疑

一般会計

総務費

問 吉田委員

一般管理費の需用費で、予算不足による増額流用と他節への減額の流用が混在しているのが数か所あるので伺う。また、知事道議選挙で不用額が出ているが予算不足で増額流用する場合は、不用額が出ないと思われるので伺う。

答 総務課長

年度末に予算を執行し、なかなか読めない部分がありまして、細かく補正タイミングもありそのような状況です。予算額が無くなり足りない額を流用し執行するので、基本的にはゼロになります。執行後に支出科目の誤りがあり戻していますので、残額が発生しております。

問 宮崎委員

広報お知らせ版で憩いの広場(役場跡地)で焼き肉ができますとお知らせがあり、公共の場所ではできないと認識されている方が結構いると思います。が、何で今になって急にお知らせがあったのか伺う。

答 総務課参事

担当課長が欠席で詳細は回答できませんが、管理は自治会管理になります。連合会の会議等でなかなか使われていない事情があったと考えています。

問 宮崎委員

詳細についてわからないところがあるので、わかりましたらお知らせいただきたいと思います。広場自体も土地の所有的には町になると思います。町有地の広場、公園は他にもたくさんあり、その中で自治会が管理しているのがここだけか伺う。焼き肉なり支障のない範囲の利用はここだけなのか伺う。

答 副町長

基本的に昔も野球場はソフトボール大会後に町内単位や、鍾乳洞もイベントの時は町内会が独自にはあると思います。自治会の場合は、自治会連合会として一定の方向性を決めて、使わせることにしたと思われしますので、それは理解を示していくしかないと思っています。

問 長谷川委員

広報広聴について、フリーページという性質上、町民の方々に重要な情報が伝わっていないので、改善やリニューアルなど変えていかないと読み続けられない情報誌になってしまうと危惧していますが、内部でどういう対応をしているのか。ホームページの更新

があまり頻繁でない印象ですが、ホームページの対応についても伺う。

答 政策経営課長

月1回発行できる貴重な情報提供の機会になり、それぞれ特集として非常に丁寧にお伝えしたい情報についてページ数を割いてお伝えしています。行政としては、各課で取り組んでいる情報も集約しお伝えしていますので、情報を手厚く出していきたいと考えています。ホームページの更新は、各課全体で改めて新しい情報を出して、要らない情報は削る対応をしていきたいと考えています。

民生費

問 宮崎委員

予防接種で伺いますが、新型コロナウイルスの予防接種の実績がわからないので伺う。

答 保健福祉課保健担当課長

令和5年度は秋開始の接種で、65歳以上の接種人数は、629人のうち369人が接種を受けております。接種率は、58.7%です。64歳以下の接種人数は、889人のうち176人が接種し、接種率は19.8%です。

問 長谷川委員

環境保全活動推進事業の電気自動車用の充電器について、充電設備を来訪

者や町民向けに利用できるのか伺う。

答 総務課参事

検証という形で整理していますが、例えば充電切れとなった場合、対処可能と思っています。ただ、使用料等について検討していませんので、電気自動車に関しては、住友モータースに一応充電器がありますので、貸さなくても今のところは何とかなると思っています。今後、電気自動車が増えてくれば、施設も必要になってくる部分含めて検証ということでご承知おき願いたい。

問 蓮尾委員

ファミリーサポート事業で、執行率が74.2%となり、具体的に利用されたお子様の人数も少ない印象があります。延長保育で足りないところはファミリーサポートで補完できるシステムになっていると思うので、利用人数が伸びてこない原因を把握しているところがあれば伺う。

答 保健福祉課長

ファミリーサポートの実績の要因は、詳細な面は把握していませんが、預かる方と預けたい方のマッチングなので、今後要因を精査した上で対応していきたい。

決算審査特別委員会

審査意見

① 具体的な情報（事業の委託契約先、協定の締結状況、物品等の見積りや入札の結果、利用者実績などの詳細）がより共通した形式で統一されることを含め、議会と行政側が協力してペーパーレス化に向けて取り組むことを望む。

② 基金の減少などにより将来的な財政運営が危惧されるので、計画に基づいた事業運営を求める。



議員だより く私の思いく

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて、思いを綴るものです。

令和5年4月の地方統一選挙において、初当選し1年半が経過しました。

45年間で中頓別町の職員として勤務し、町議会議員として引き続き中頓別町に関わるようになりました。

立場は変わっても、これまでの経験を、議会運営に活かすことが出来ればと考え活動を行ってきましたが、町職員の立場で見てきた議会内容と、実際に議員の立場での活動を実際に経験してみると、やはり違いがあり、あつという間の一年でした。

ただ、町政に対し目線を変えることによって少しずつではありますが、こういう事が出来たのではないかと、こういう事が出来ないかと、また、職員時代は自分の受け持っている業務や担当する課の業務に対する目線でしか考えられなかったことが、町全体の事業として考えられると少し戸惑うこともありましたが、責任の重さをひしひしと感じています。

役場全体としての職場環境についても、職員

が働きやすい環境なのか、どこか働きにくい状況があるのではなど、違う視点で考えることが出来るのが新鮮と感じるようになりました。

新聞等でも掲載されていますが、地方公務員等の離職が増加傾向にあり、その影響で現職員の負担が増加し、病休や離職が増える事による人員不足の連鎖が起きている。

最近では、当町に限ったものではありませんが、採用になっても数年で離職する職員が増加傾向にあります。せっかく職員として経験し、これから中堅職員として期待する職員が離職するのは、当町にとって大きな損失であります。離職の理由は一身上の都合や、出身地の近くに帰りたいなど様々ですが、少数とは思いますが、離職してまた同じような環境の他町の役場に再就職する職員もいますが、一部とはいえ離職の理由は職場環境にもあるような気がします。環境についても何か少しでも考えることで、離職者が減少することを期待したいと思います。

（綴人 吉田 智一）

議会の動き

8月

- 6日 仁木町議会総務経済常任委員会研修視察
令和6年第2回臨時会
- 8日 全員協議会
- 20日 議会広報研修会（札幌市）
- 20日 檜原民之助氏追悼慰霊祭
交通事故死亡者慰霊祭
無縁故者法要
- 24日 宗谷管内議員研修会（稚内市）
- 26日 議会運営委員会
持続可能な公共交通の維持確保要望行動
（札幌市）
- 28日 議会改革特別委員会視察（猿払村）
全員協議会
- 29日 議会運営委員会

9月

- 8日 町民親睦交流パークゴルフ大会
- 9日～11日
第3回定例会、決算審査特別委員会
- 15日 自由民主党定期大会及び政経セミナー
（稚内市）
- 18日 敬老会
- 27日 南宗谷衛生施設組合定例会（浜頓別町）

10月

- 3日 議会広報編集特別委員会
- 4日 置戸町議会総務常任委員会行政視察
- 12日 三好雅政経セミナー（猿払村）
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 22日 大空町議会総務厚生常任委員会視察
- 24日 占冠村議会行政視察



ぶどう実証試験ほ場収穫体験会



発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ 〒098-5595
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244（直通）
fax (01634) 6-1155

編集後記

「議会改革の一環としての
ペーパーレス化について」

9月の下旬ともなると、北海道の空気は一段と冷たくなり、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。時折、最低気温が零度以下になる日もあり、秋の深まりを感じる暇（いとま）もなく、利尻岳では初冠雪の便りです。もう初冬の気配さえ感じるようになりました。こんな季節の中にあつて私たちは議会改革の一環としてペーパーレス化の取り組みを始めようとしています。

ペーパーレス化の作業は、まず紙資料の電子化から始まります。議案書や会議資料を、デジタルフォーマットに変換します。

次に議員や職員にタブレット端末を配布し、会議中の資料閲覧やメモ取りをデジタル化します。これにより、紙の使用量が大幅に削減され、環境負荷の軽減にも寄与します。さらに、クラウドベースで情報を管理し、リアルタイムでの情報共有や共同編集が可能となります。

また、広報委員で検討しているのは、議会が開催されても、議会の様子を傍聴できない人が多いと思います。そのために今盛んに全世界で閲覧されているYouTubeの導入なども検討しています。YouTubeだと一定期間アップロードして多くの人に議会の様子を観てもらって、少々のタイムラグはありますが、多くの住民の意見を議会に反映するチャンスが生まれてきます。

このような取り組みを通じて、私たちは議会の透明性と効率性を高め、住民サービスの向上を目指していきます。

議会広報編集特別委員会(西)